

貴重な情報源となった日曜教室(いきいき教室)の1年を振り返って…

いつまでもいきいきと♪

今年度の日曜教室事業は、講座に継続性を持たせ、地域にある社会資源との連携や、交流の場づくりをめざし、「いきいき教室」を湖北地域で6回開催しました。「健康」を年間を通してのテーマとし、「1回ごとの学習内容を絞って「理解を深める」ことに重点をおき、毎回、血圧測定や健康相談を行うことで、生活上の健康についての悩みを気軽に相談できる場も設けました。

参加者の方々は、講座で学習したことをきっかけに、自宅で毎日血圧測定をしたり、食習慣を改めたり、病状をきちんと把握するため手話通訳を同行して通院したりと、自らの健康管理について考え、生活改善に努めておられます。また、講座に参

滋賀県立

# 聴覚障害者センター

## だより

第40号



発行日 / 平成18年 3月31日  
 発行所 / 草津市大路 2丁目11-33  
 TEL 077-561-6111  
 077-561-6133  
 FAX 077-561-6112  
 077-565-6101  
 E-mail : shigajou@eos.ocn.ne.jp

加することであるいろいろな方と交流し、活動範囲を広げられるようになった方もおられます。

聴覚障害者の方々がくらしや健康に関する情報を理解し、相談することのできる場はまだまだ限られています。「いきいき教室」のような講座は、聴覚障害者にとって貴重な情報源となっており、「今後も引き続き開催してほしい」という声が寄せられています。



聴覚障害者センターでは、来年度も引き続き日曜教室事業を開催し、聴覚障害者の方々のニーズに合わせた様々な情報をわかりやすく提供し、社会資源を活用できるようにサポートする取り組みを続けていく予定です。

## パソコンは面白い!!

増える聴覚障害者の  
ITサポート利用

本年度は滋賀県立身体障害者ITサポートセンターと連携しながらの講習会を実施したり相談者の内容もIT機器やソフトウェアの相談など幅広くなったり、新規の相談者も増えました。

パソコンのニーズが広がっている現代社会での反映もありますが、聴覚障害者にとって相談しやすい場所の必要性を感じています。

また、パソコン実物を見ないとわからない相談内容もあり、専門用語がたくさんあって、意思疎通ができなく相談内容やサポート内容がお互いに伝わっていないこともあるなど、一人一人にとって最適なサポートができていないという課題もあります。今後もITサポートを続けますが、引き続きこれらの課題も利用者と共に考えていけたらと思っています。

また、積極的に講習会を設けたりするなど、ITへのきっかけを増やしていけたらと、考えておりますので、来年度も引き続きIT相談をご利用下さい。



【テレビ電話での電話会議】

## 聴覚障害者情報

### ネットワーク網の構築にむけて

聴覚障害者センターでは、インターネットに接続し、テレビ電話を使って手話でのコミュニケーションや、遠隔地の手話通訳の実験を行っています。

この実験は、CS障害者専用放送統一機構がCS通信並びにインターネットを活用した聴覚障害者情報ネットワーク網の構築モデル事業の一つとして行うもので、全国5ブロックの聴覚障害者情報提供施設にテレビ電話を設置し、それぞれの地元で聴覚障害者が在籍する相談機関などとテレビ電話で結んで、遠隔地手話通

訳についての評価をおこないます。

当センターもこの実験に協力を行い、聴覚障害者がよく利用する病院や、聴覚障害者の自宅にテレビ電話を設置して、この3月から実験を始めた。

早速、使ったみたところでは、これまでにもいくつかのテレビ電話がありました。最近のネットワーク回線の高速化や機器の進歩により、手話でのコミュニケーションはスムーズになってきたように思います。

実験は6月までですが、今後、様々な場面を想定し、遠隔地手話通訳の有効性と課題について検証していきます。

また、このモデル事業では遠隔地手話通訳の実験の他にも、インターネットを利用してパソコン上で、手話通訳者の養成などを行なうeラーニング事業や、パソコンさえあれば好きなときに見ることが出来る手話や字幕付きの番組のストリーミングの実験も行います。このストリーミングの実験にも、滋賀の作品を提供し、協力を行っています。

## 盲ろう者とふれあいを…

### ～盲ろう者通訳・

#### 介助者講座関連の報告～

今年度実施した「滋賀県盲ろう者通訳・介助者養成講座」の修了生を対象に、当センター内で2月4日(土)に盲ろう者の方と交流会を開催しました。15人の修了生が参加し、「盲ろう者とコミュニケーション(近況報告)」と「移動介助」を主に学習を行いました。近況報告は、久しぶり対面となりましたが、終始笑顔がたえず会話が弾みました。移動介助では、階段や狭い通りを介助する実践さながらの実習を行いました。

修了生は、「滋賀県盲ろう者通訳・介助者派遣事業」に登録して頂き、来年度から、盲ろう者の方々の社会参加を支援する活動が始まります。ご活躍を期待します！

## きこえにくくなっても…

### ～「聞こえの相談」事業の報告～

今年度の相談は、前半期は再来者が多かったようです。常に不自由さが気になる方、定期的な聴力検査を勧められていた方、すなわち障害者手帳の交付申請に該当する可能性が最も高い方々です。

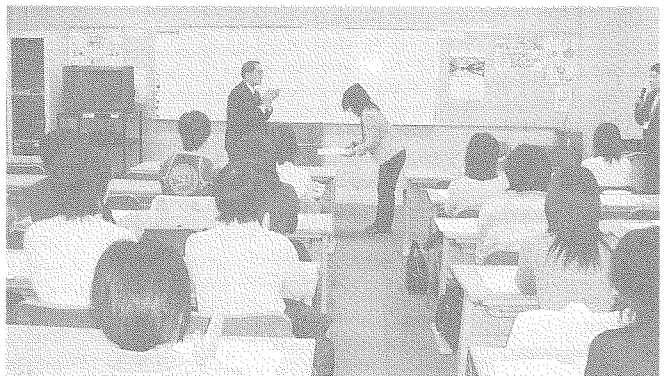
逆に福祉制度の恩恵は受けられないけれど、さぞ不自由を感じているであろう相談者もおられます。

相談内容の面から言えることは、ご本人だけが感じる聞こえに関する悩みに加え、聞こえないことから起きてくる第二次的な悩み、例えば、家族の問題解決のための相談に行きたくても、聞こえないから行けないというような相談や、コミュニケーションが十分でないことから起こる人間関係の悩みや及ぶなど、難聴者が一人で抱えこむ悩みの深さを感じます。

今冬は寒さが厳しかったせいか、12月～1月の相談件数は少なかったものの、広報紙に掲載されると早速に申込があり改めて広報の重要さを感じさせられます。また、ホームヘルパー、ケアマネジャー等の研修の場で当事業の案内があり、支援者からの紹介で申し込まれたケースも数件あり、常時、地道な案内を心がけ、聞こえに悩みをもつ方々に役立つ相談でありたいです。

### 要約筆記養成講座

昨年の六月二十八日から今年二月二十六日まで、基礎・応用の養成コースを経て、手書きクラスは十八名、パソコンクラスでは、十一名の計二十九名の方々が修了されました。次年度から導入される障害者自立支援法により制度の変更、それによる要約筆記の派遣、養成にも変化の波が訪れることを強調したつもりです。要約筆記者として知識、技術、聴覚障害者への対応について学習を続けていただきたいと期待するところです。



【要約筆記者養成講座を終えて】

#### 【要約筆記者の感想より】

(手書きクラス)

・ビデオを見て障害の受容がこんなにも難しいとは思っていませんでした。途中で障害になることはショックであり、そのうえ社会復帰にはエネルギーがいる。要約筆記の必要性を大きく受けとめることができました。

・つついとい長く書いてしまいがちで、要約のポイントを教えていただき勉強になりました。

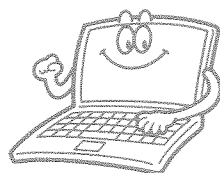
・「ニュアンスを伝える」というところで、筆記者の主観と区別しなければいけないので難しいと感じました。

(パソコン要約筆記)

・正確さを追求するとスピードが劣り、スピードを気にすると正確さに欠けてしまう。話しについていけないことがありました。

・講演など話し言葉の入力は、入力することのみに追われてしまい要約までは難しいなと思いました。

・登録要約筆記者(講師)とペア入力をしてみると、落ち着いて入力することができました、不思議です。



## 未来を切り拓く養成講座へ

### 手話奉仕員・要約筆記者の養成講座の報告

#### 手話入門講座

「手話との縁の糸を切らさぬようにサークルで学び続けたい」

手話入門講座で三十八人が修了

昨年十一月に開講した「入門講座」が今年三月に終了しました。講座では「多くの人に出会い、自分の考え

を見直す機会になった」、「今後は地域のサークル活に参加したい」など大変好評でした。これから活動して見たいことや福祉大会に参加した感想文からその声をお伝えします。

【これからしたい活動】

○触手話も覚えて盲ろう者の支援がしたい。

○手話で観光案内ができるようになりたい。

○地域の様々な「会」に入っており、

みんなに興味や関心を持ってもらえるように広めていきたい。

○手話サークルに入りたくさんの人たちと交流したい。

○会社でも大いにコミュニケーションをとっていききたい

○もっと手話を勉強してより多くのろうあ者と接する機会を見つけたい。

【福祉大会の感想より】

○要約筆記や職種輪などを始めて目

にした。聴覚障害者が生活しやすい社会になるために、様々な取り組みがあることがよくわかりとてもよい経験になった。

○色々な方法で情報を伝えていることにまぎびっくり。手話が普通の言葉として飛び交っていることにもびっくり。

○手話は少ししか使えなかったけれど会場の雰囲気にとけこんでいる自分に気がつきました

## 新しいビデオが入りました

平成17年度 第2回新作ビデオリスト字幕ライブラリー共同事業前期分 (平成18年3月)

<p>○ためしてガッテン ・紅茶! 実験1000回 見つけた極意 ・現代病! ドライマウスの恐怖 ・まさか私が!? 隠れ難聴・耳鳴りの恐怖</p> <p>○どうぶつ奇想天外! 仰天わけあり! サルがノリノリに!! 千石先生VS西表島 “けったい” な動物 さよならモモちゃん!? そして宮沢さんは…</p> <p>○NHKスペシャル エジプト 謎の古代王朝 ピラミッドはなぜ消えたか~ ○生命38億年スペシャル 人間とは何だ!? V ~脳の奇跡・失われた愛を探る感動の旅~</p> <p>○きらっといきる ものづくりは俺たちが支え~東大阪 聴覚障害の熟練工たち~ ○ろうを生きる難聴を生きる手話と教育~世界ろう連盟 ヨキネンさんに聞く~ ○福祉ネットワーク ・うちの子どもは世界一絵で育むきずな ・光と音を失っても ~全国盲ろう者大会から~</p> <p>○その時君は輝いた ~アテネパラリンピックの12日間~ ○体いっぱい原爆を語りつく ○にんげんドキュメント ・僕には仲間の声が見える~近畿大学アメフト 選手の挑戦~ ・心の扉 たたき続けて ~神戸 “希望” 診療所の10年~</p> <p>○その時歴史が動いたスペシャル 新選組 最後のサムライたち ・第一部 立志編 剣に生きる ・第二部 死闘編 武士道に死ぬ</p> <p>○世界史上空前の謎!! 古代ローマ幻の都市ポンペイはなぜ19時間で消えたのか!? 愛と悲しみに彩られた古代のタイタニック</p> <p>○平成16年度文科学術祭参加作品 TOYOTA夢・ロマンススペシャル地球の夢! 生命の夢!! ダーウィンの冒険</p> <p>○プロジェクトX 挑戦者たち ・列車炎上 救出せよ北陸トンネル火災 ・駅伝日本一運命のたすきをつなげ</p> <p>○NHKスペシャル シリーズ阪神・淡路大震災10年 ・第1回焼け跡のまちは、いま ~鷹取商店街 再生 ・第2回 マンション再建 住民の選択 ・第3回 家族・いのち受けついで</p> <p>○スーパーテレビ情報最前線 ・感動の家族愛! 極小未熟児四つ子ちゃん子育て戦争543日 ・実録! ハダカの青春元祖ウオーターボーイズ</p>	<p>○読売新聞130周年記念 乙武洋匡の世界で一番楽しい学校 ○TOYOTA ECOシリーズ素敵な宇宙船地球号 アマゾンの森を耕す~ブラジル日系移民奮闘記~</p> <p>○NHKスペシャル21世紀日本の課題 子どもが見えない ・第1回 大人の知らない世界 ・第2回 大人はどう向き合うのか</p> <p>○ETV特集 いいもんだよ、生きるつ~夜回り先生・水谷修のメッセージ~ ○わかる国語 たいすきな20冊天使のいる教室 作 宮川ひろ ○ふしぎいっぱい ・アオムシのへんしん①② ○NHKジュニアスペシャル 驚異の小宇宙・人体Ⅱ 脳と心 第2集 パワーアップ! 見る力!!</p> <p>○こくせん 1~10 ○青春の門 一筑豊篇一 ・第一夜 ・第二夜 ○平成十六年度文化庁芸術祭参加作品海峽を渡るバイオリン ○新春ドラマスペシャル ナニワ金融道⑥ ○お元気ですか日本列島 ハツラツ道場掌握! 油断できない体脂肪脂肪をためない食事 ○それいけ! アンパンマン ・アンパンマンとクリスマスの星 ・ロールリナとフラワー姫はいきんまんとチョコレートマン</p> <p>○ブラック・ジャック ・プロローグ Karte: 00 オベの順番 Karte: 01 消えた針 ・Karte: 02 アリの足 ・Karte: 07 白いライオン</p> <p>○トリアの泉 ~素晴らしきムダ知識~ (放送日2005. 1. 12) ○THEスペシャル はじめてのおつかい爆笑傑作スペシャル ○世界一受けたい授業 ・脳力増強スペシャル ・国語スペシャル ・億人の国語算数理科社会教養スペシャル</p> <p>○行列のできる法律相談所 ・ドンドンピカピカ!! 魅惑の大サーカススペシャル!! ・春の3時間特番! 日テレ人気番組が相談にやってきたぞS</p> <p>○日立世界ふしぎ発見! ・チャップリン 90年目の真実 ・徹底検証!! マンモス復活は夢か? 現実か? ・空海 天才の秘密に迫る ・トルコ5000年の旅! ミステリーグルメ紀行</p>
---	---

### 字幕ビデオライブラリー普及事業番組一覧

<p>○それいけ! くいしんぼ ~ブラックバス料理~ ○潮国のひと ~鉄道愛好家 祐善明人氏~ ○淡海の手話 追加版 「土山」「水口」「草津」「多賀」「三上山」「志賀」 ○60年前の悲惨な情景は今も記憶から消えることなく ~山崎榮子 氏~</p>	<p>○第7回手話ふれあいフェスティバル ○つらい花粉症との付き合い方 ○創立10周年記念シンポジウム 大いに語る! 聴覚障害者の福祉と今後の展望</p>
---	---

### センターだより

我が家の食卓に“ふきのとう”の天ぶらが出てくると春がやってきたな、と思うようになったこの頃です。身にしみるほどの寒さが続く、とささやかなことでもすごく暖かくなるんですね。そんなときに心が暖かくなるようなビデオを拝見しました。

ドキュメンタリーの『日本一短い母への手紙』です。35文字という短い一筆の中には様々な思いがこめられていたという内容の1995年制作の古い番組です。今の社会背景とは違っていました、番組には共感する部分があって、思いや気持ちは時代には関係ないと思いました。

そこで、今、自立支援法や特別支援教育などで社会が変わろうとしています。私たちにとっては、更に寒い時代に入りそうですが、そんな時代教育でも人に思いやる気持ち、暖かい気持ちを忘れないでいきたいですね。今日も暖かい日になりますように・・・。

【Y. Y】